

旧朝香宮三代目当主 朝香誠彦様

協会の名誉総裁に就任

旧朝香宮三代目当主 朝香誠彦(あさかともひこ)様に予てより懇願しておりました協会の名誉総裁ご就任の話がまとまりこのほど、平成31年3月1日付けで、正式のご承諾を得ました。承諾書を掲載してありますのでご参照ください。

協会ではこれまで、健康マージャンのブランド向上に寄与すべく数々の施策をプランニングしてまいりましたが、このたびの名誉総裁推戴は格段に意義あるものと思われま

す。今後は、協会が発行する段位状、表彰状、感謝状などに名誉総裁名が明記されることになり、他にない日本健康麻将協会ならでの価値ある賞状を贈呈することができる。

明治後期、久邇宮朝彦親王の第8皇子である鳩彦王(やすひこおう)が、1906(明治39)年に、明治天皇より朝香宮の宮号を賜った。鳩彦王は1910(明治43)年に、明治天皇の第8皇女である允子内親王と結婚された。鳩彦王の第1王子であ

る孚彦王(たかひこおう)は終戦後の1947(昭和22)年に皇籍を離脱された。

孚彦王の第1王子である朝香誠彦様は1943年のお生まれで、鳩彦王、孚彦王、と続く朝香宮家の三代目にあたる。

久邇宮家、武田家と並ぶ明治天皇系の皇族で、初代の朝香宮鳩彦王は陸軍大将、二代目の朝香宮孚彦王は陸軍中佐で終戦をむかえている。

天皇家はむろんのこと、武田家、北白川家、東久邇家と姻戚関係にある、日本を代表する名家の一つである。

昭和15年、世田谷区駒沢にあった「東京ゴルフ倶楽部」のゴルフ場が埼玉県膝折村に移転。そのことがきっかけとなり、村名改称の気運が高まり、昭和17年、「東京ゴルフ倶楽部」の名誉会長であった朝香宮殿下の名をいただき、「朝霞」とした。今日の朝霞市誕生の由来である。

協会においても大きな発展の新たな礎としたい。



左より、朝香誠彦 旧朝香野宮三代目当主、田邊恵三会長 (2019年3月9日)



前列左より、朝香正彦 旧朝香野宮三代目当主、朝香夫人、後列・田邊会長、田邊夫人



就任承諾書



旧朝香宮邸庭園側外観。現在、東京都庭園美術館として現存している。(港区白金台)